



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成29年2月～4月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyos.johas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月3日(金) 14:00～16:00	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・ 実地2	40
2月9日(木) 14:00～16:00	職域における救命救急措置 職場で従業員が心肺停止状態になった場合、いかに速やかに適切な救命救急措置を行うかが大切です。この研修では、職場で人が倒れた場合を想定し、心肺蘇生に関する基礎的な知識を学ぶとともに、人体模型を用いて実際に心肺蘇生法体験を行います。同時に、3D解析ツールにてご自身の心肺蘇生法が適切に機能しているかどうかを測定いたします。また各種AEDの使用法に関する研修も行い、職場で救命救急対応ができる知識とスキルを学んで頂きます。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	内田 和彦 日本産業衛生学会職域救急研究会 南浩一郎、堀川直人 他	生涯・ 実地1 生涯・ 専門1	10
2月15日(水) 14:00～16:00	長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について 厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・ 更新2	70
2月17日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
2月23日(木) 13:00～16:00	海外勤務者の感染症対策 海外邦人のメンタルヘルスケア 【注意！】 ・本研修会は外部会場で開催いたします。 会場：二松學舎大学九段キャンパス1号館201教室（千代田区三番町6-16） ・本研修会は、2コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 1 海外勤務者の感染症対策 感染症は海外勤務者にとって重要な健康問題の一つです。この中には経口感染する旅行者下痢症やA型肝炎、蚊が媒介するデング熱やマラリアなどがあります。また、最近ではMERS(中東呼吸器症候群)やジカ熱など新しい感染症も海外で発生しており、海外勤務者も注意を要します。今回の講演では、海外勤務者がかかりやすい感染症の最近の流行状況や予防対策について解説します。 2 海外邦人のメンタルヘルスケア 国際化がいわれて久しい日本社会ですが、日本人が海外に出張や駐在に経験する際には多くのストレスに曝され、その一部はメンタル不調をもたらすきっかけになるようです。多文化がからむストレスとしては、気候・風土、疾病、治安、言語などがまぎまぎです。また、一旦メンタル不調に陥ると、その対応も日本並みとはいかず、費用や言葉の問題からその対応に苦慮することが少なくありません。 本研修では、主に海外駐在員およびその家族のメンタルヘルス対策について、一次予防から三次予防にまで触れていくものとする。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎 大西 守	生涯・ 専門1.5 生涯・ 専門1.5	150
2月28日(火) 14:00～18:00	石綿関連疾患診断技術研修 呼吸器系の疾患を取り扱う医師を対象に、新たな医学的知見や診断技術の向上を踏まえた石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露所見に関する読影・検査方法、労災補償上の取扱いなどについて、講義・実習を実施します。 講義：石綿関連疾患の診断と臨床(2時間) 実習：石綿関連疾患の画像の読影実習(2時間) ※本研修会は、2コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 ※本研修会は東京都と共催で実施します。	東京労災病院 戸島 洋一 関東労災病院 上原 隆志	生涯・ 専門2 生涯・ 実地2	15

3月3日(金) 14:00～16:00	過労死等の現状と対策 電通事件の再発と労働局の「かどく」の動向に関する報道が相次ぎ、各事業場の関心が高まっており、産業医の今後の取組みを再確認します。	石井 義脩	生涯・ 専門2	70
3月16日(木) 14:00～16:00	産業保健と法⑥～個人情報～ 今般のストレスチェック制度の施行により、個人情報の取扱いがより煩雑になったと言われて います。実務的な難しい問題が山積していますが、まずは基本に立ち返り、個人情報(健康 情報)保護の考え方や構造について見ていきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・ 専門2	70
3月21日(火) 14:00～16:00	ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指 導の実施に関する研修 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、 一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付 けられています。 本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された 「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に 高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見 書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・ 更新2	70
4月11日(火) 14:00～16:00	ストレスチェック制度のあらましと、長時間労働者、高ストレス者に対する面接指 導の実施に関する研修 改正労働安全衛生法により平成27年12月1日に施行された「ストレスチェック制度」では、 一定の条件を満たす労働者に対し医師による面接指導を実施することが事業者には義務付 けられています。 本研修ではストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された 「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に 高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見 書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・ 更新2	70

◆保健師・看護師研修◆

※産業看護実力アップコースの単位取得可能な研修会は平成26年9月末で一旦終了となっております。

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月7日(火) 14:00～16:00	治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインと看護職の役割 平成28年2月に、厚生労働省から「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」が公表されました。そこで、ガイドラインが公表されることとなった背景やガイドラインの狙い、および両立支援の進め方を知り、取組における産業看護職の役割について、学びます。	飯島 美世子	単位なし	70
2月8日(水) 14:00～15:30	夜勤・交替勤務者の食事管理～タクシー運転手の食事調査から～ 夜勤・交代勤務者は食事の時間が不規則になりがちで、欠食や偏った内容の食事、間食などによっては肥満をはじめとした生活習慣病にもつながります。夜勤・交代勤務者が食事での気をつけるべき点について、深夜に勤務するタクシー運転手の食事調査報告と併せながらコンビニを利用した食事の摂り方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ※東京労災病院治療就労両立支援センター共催	管理栄養士 平澤 芳恵	単位なし	40
2月9日(木) 14:00～16:00	職域における救命救急措置 職場で従業員が心肺停止状態になった場合、いかに速やかに適切な救命救急措置を行うかが大切です。この研修では、職場で人が倒れた場合を想定し、心肺蘇生に関する基礎的な知識を学ぶとともに、人体模型を用いて実際に心肺蘇生法体験を行います。同時に、3D解析ツールにてご自身の心肺蘇生法が適切に機能しているかどうかを測定いたします。また各種AEDの使用法に関する研修も行い、職場で救命救急対応ができる知識とスキルを学んで頂きます。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	内田 和彦 日本産業衛生学会職域救急研究会 南浩一郎、堀川直人 他	単位なし	10
2月22日(水) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～その理解と実践の第一歩～ 医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながらか働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。 また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になったからと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。 今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
2月23日(木) 13:00～16:00	海外勤務者の感染症対策 海外邦人のメンタルヘルスケア 【注意！】 ・本研修会は外部会場で開催いたします。 会場：二松學舎大学九段キャンパス1号館201教室（千代田区三番町6-16） ・本研修会は、2コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 1 海外勤務者の感染症対策 感染症は海外勤務者にとって重要な健康問題の一つです。この中には経口感染する旅行者下痢症やA型肝炎、蚊が媒介するデング熱やマラリアなどがあります。また、最近ではMERS(中東呼吸器症候群)やジカ熱など新しい感染症も海外で発生しており、海外勤務者も注意を要します。今回の講演では、海外勤務者がかかりやすい感染症の最近の流行状況や予防対策について解説します。 2 海外邦人のメンタルヘルスケア 国際化がいわれて久しい日本社会ですが、日本人が海外に出張や駐在に経験する際には多くのストレスに曝され、その一部はメンタル不調をもたらすきっかけになるようです。多文化からむストレスとしては、気候・風土、疾病、治安、言語などさまざまです。 また、一旦メンタル不調に陥ると、その対応も日本並みとはいかず、費用や言葉の問題からその対応に苦慮することが少なくありません。 本研修では、主に海外駐在員およびその家族のメンタルヘルス対策について、一次予防から三次予防にまで触れていくものとする。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎 大西 守	単位なし	20
3月8日(水) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30

3月10日(金)	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法			
14:00～16:00	大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
3月22日(水)	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の設置、運用と活性化及び職場巡視の効果的な展開について～			
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における安全衛生委員会と職場巡視について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
4月6日(木)	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)			
14:00～16:00	定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	30
4月14日(金)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える			
14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年1月27日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
4月18日(火)	労働安全衛生管理基礎講座			
14:00～16:00	「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。 また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 中山 篤	単位なし	30
4月20日(木)	働く人のメンタルヘルス最前線⑫～法に基づくストレスチェック制度実践編(集団分析後の職場環境改善活動)～			
14:00～16:00	事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、個人結果に沿った労働者へのフォローアップの方法や、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法(メンタルヘルスアクションチェックリストや健康経営オフィスレポート簡易チェックシートなど)について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例などの最新情報もご紹介いたします。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	30
4月25日(火)	働く喜びへの伴走～メンタルヘルスを中心とした両立支援～			
14:00～16:30	産業保健の目指すところは「働き続けることで健康になる」ことにあります。このためには主治医と職場の連携が重要ですが、残念ながらスムーズに実施されているとは言いがたい状況ではないでしょうか。 メンタルヘルス不調者の職場復帰に関連してその連携に関する経験が集積されつつあります。 職場で健康管理に携わった看護師と中小企業における両立支援にかかわった社会保険労務士により、参加者を交えて現場目線の取り組み方を考えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 看護師 菅野 由喜子 社会保険労務士 根岸 純子	単位なし	30
4月27日(木)	働くことによって健康になる職場を考える			
14:00～16:00	生涯現役の時代、元気だから働き続けられるというより、働いているから元気になるのだともいわれています。 第一回は、高齢期の問題に限らず、不調を抱えながら働き続けることをそれぞれの立場から考えてみます。 産業医の立場から 松永 芳径 精神科医 法律家の立場から 西園寺 直之 弁護士 ライン管理者の立場から 古山善一 元労働基準監督官 各15分程度の問題提起の後、パネルディスカッション方式でフロアとの交流を行い内容を深めます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業医 松永 芳径 弁護士 西園寺 直之 古山 善一	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
2月8日(水) 14:00～15:30	夜勤・交替勤務者の食事管理～タクシー運転手の食事調査から～ 夜勤・交代勤務者は食事の時間が不規則になりがちで、欠食や偏った内容の食事、間食などによっては肥満をはじめとした生活習慣病にもつながります。夜勤・交代勤務者が食事での気をつけるべき点について、深夜に勤務するタクシー運転手の食事調査報告と併せながらコンビニを利用した食事の摂り方をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ※東京労災病院治療就労両立支援センター共催	管理栄養士 平澤 芳恵	30
2月9日(木) 14:00～16:00	職域における救命救急措置 職場で従業員が心肺停止状態になった場合、いかに速やかに適切な救命救急措置を行うかが大切です。この研修では、職場で人が倒れた場合を想定し、心肺蘇生に関する基礎的な知識を学ぶとともに、人体模型を用いて実際に心肺蘇生法体験を行います。同時に、3D解析ツールにてご自身の心肺蘇生法が適切に機能しているかどうかを測定いたします。また各種AEDの使用法に関する研修も行い、職場で救命救急対応ができる知識とスキルを学んで頂きます。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	内田 和彦 日本産業衛生学会 職域救急研究会 南浩一郎、堀川直人 他	10
2月22日(水) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～その理解と実践の第一歩～ 医学の進歩により、がんをはじめ各種疾病の治療をしながら働くことが可能になっていますが、現実には職場の理解や支援が受けられないために治療と職業生活の両立をあきらめている人が多いのが現状です。よって、企業にとって治療と職場生活の両立支援(以下「両立支援」という。)は「健康経営」や「社会的責任」等の観点から見て推進されるべき取組と言えます。 また、少子高齢化による本格的な労働力不足時代を迎えようとしている日本では、今後は「病気になったからと言って、貴重な戦力をむざむざ離職させ手放す」というようなぜいたくは許されなくなっていくでしょう。そういう意味でも「両立支援」は各企業にとって推進すべき重要な課題と言えます。 今まで両立支援に取り組んでいなかったり、取り組んでいてもその場限りの取り組みに終わっていた企業の皆様、両立支援とはどのようなことなのか、取りあえずの第一歩として表題のガイドラインをもとに、両立支援に対する理解を深めていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
2月23日(木) 13:00～16:00	海外勤務者の感染症対策 海外邦人のメンタルヘルスケア 【注意！】 ・本研修会は外部会場で開催いたします。 会場：二松學舎大学九段キャンパス1号館201教室（千代田区三番町6-16） ・本研修会は、2コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 1 海外勤務者の感染症対策 感染症は海外勤務者にとって重要な健康問題の一つです。この中には経口感染する旅行者下痢症やA型肝炎、蚊が媒介するデング熱やマラリアなどがあります。また、最近ではMERS(中東呼吸器症候群)やジカ熱など新しい感染症も海外で発生しており、海外勤務者も注意を要します。今回の講演では、海外勤務者がかかりやすい感染症の最近の流行状況や予防対策について解説します。 2 海外邦人のメンタルヘルスケア 国際化がいわれて久しい日本社会ですが、日本人が海外に出張や駐在に経験する際には多くのストレスに曝され、その一部はメンタル不調をもたらすきっかけになるようです。多文化がからむストレスとしては、気候・風土、疾病、治安、言語などさまざまです。 また、一旦メンタル不調に陥ると、その対応も日本並みとはいかず、費用や言葉の問題からその対応に苦慮することが少なくありません。 本研修では、主に海外駐在員およびその家族のメンタルヘルス対策について、一次予防から三次予防にまで触れていくものとする。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	濱田 篤郎 大西 守	30
3月8日(水) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40

3月10日(金) 14:00～16:00	<p>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</p> <p>大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。</p> <p>過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。</p> <p>労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
3月13日(月) 14:00～16:30	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～</p> <p>今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。</p>	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30
3月22日(水) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の設置、運用と活性化及び職場巡視の効果的な展開について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における安全衛生委員会と職場巡視について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリートーク)を行います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
4月6日(木) 14:00～16:00	<p>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</p> <p>定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	40
4月14日(金) 14:00～16:30	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあうべきか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。</p> <p>(研修の内容は前回開催(平成29年1月27日)と同内容です。)</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	40
4月18日(火) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働衛生管理に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。</p> <p>本研修ではテキストに当センター発行「平成28年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎についてわかりやすく解説します。</p> <p>また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。</p> <p>「平成28年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	古山 善一 中山 篤	40
4月20日(木) 14:00～16:00	<p>働く人のメンタルヘルス最前線⑩～法に基づくストレスチェック制度実践編(集団分析後の職場環境改善活動)～</p> <p>事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。</p> <p>法に基づくストレスチェック制度を実施した後、個人結果に沿った労働者へのフォローアップの方法や、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法(メンタルヘルスアクションチェックリストや健康経営オフィスレポート簡易チェックシートなど)について、解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例などの最新情報もご紹介いたします。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	40

<p>4月25日(火)</p> <p>14:00～16:30</p>	<p>働く喜びへの伴走～メンタルヘルスを中心とした両立支援～</p> <p>産業保健の目指すところは「働き続けることで健康になる」ことにあります。このためには主治医と職場の連携が重要ですが、残念ながらスムーズに実施されているとは言い難い状況ではないでしょうか。メンタルヘルス不調者の職場復帰に関連してその連携に関する経験が集積されつつあります。職場で健康管理に携わった看護師と中小企業における両立支援にかかわった社会保険労務士により、参加者を交えて現場目線の取り組み方を考えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>古山 善一 看護師 菅野 由喜子 社会保険労務士 根岸 純子</p>	<p>40</p>
<p>4月27日(木)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>働くことによって健康になる職場を考える</p> <p>生涯現役の時代、元気だから働き続けられるというより、働いているから元気になるのだともいわれています。第一回は、高齢期の問題に限らず、不調を抱えながら働き続けることをそれぞれの立場から考えてみます。 産業医の立場から 松永 芳径 精神科医 法律家の立場から 西園寺 直之 弁護士 ライン管理者の立場から 古山善一 元労働基準監督官 各15分程度の問題提起の後、パネルディスカッション方式でフロアとの交流を行い内容を深めます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>産業医 松永 芳径 弁護士 西園寺 直之 古山 善一</p>	<p>40</p>